

事務事業名	町営牧場管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	牧野管理規定
政策名	総合計画 03	基幹産業の農業に対する強化・支援	所属部門	経済部	農林課 農畜産係(グループ)
施策名	計画 06	生産性の高い農畜産業の確立	課長名	谷保 義明	担当者名 山本 久未 (内 415)
基本事業名	体系 21113	生産性の高い農業の形成	予算科目	会計 1 5	項目 1 8 事業 町営牧場管理運営費
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input checked="" type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 S47 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 町内畜産農家の飼養牛を預託管理するため、入牧料収入と一般財源を財源として町営牧場の管理運営をする。	全体計画 (単位:千円)	特定財源	
	事業費	一般財源	
	投入量	その他	
		事業費計 (A)	
	人件費	正規職員従事人数	
		人件費計 (B)	
トータルコスト(A)+(B)			

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と効果
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)

16年度実績
入牧希望のとりまとめと入牧料の徴収、牧草地及び放牧施設の維持管理、預託牛の受入と飼養管理等

17年度計画
平成16年度と同様

対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
町内畜産農家が飼養する6ヶ月齢から24ヶ月齢の乳牛

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
適正な増体の確保と人工授精の実施により、優良な搾乳後継牛を育成する。

結果(どんな結果に結び付けるのか)
畜産農家における自給粗飼料及び労働力の補完、良質な後継牛の確保。

活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 入牧頭数	頭
イ	
ウ	
対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 入牧頭数	頭
イ	
ウ	
成果指標 (対象における意図された対象の程度) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 増体重	g/日
イ 受胎率	%
ウ 死産率	%
上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 入牧農家率	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	事業費	千円	26,782	30,971	30,502	31,215			
	特定財源	千円							
	一般財源	千円	6,314	4,580	2,455	4,436			
	その他	千円							
	事業費計 (A)	千円	33,096	35,551	32,957	35,651	0	0	0
	人件費	人	4	4	4	3			
正規職員従事人数	年間								
人工				0.6115					
人件費計 (B)	千円	0	0	5,647	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	33,096	35,551	38,604	35,651	0	0	0	
活動指標	ア	頭	776	885	900	838			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	頭	776	885	900	838			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	g/日	527	548	530				
	イ	%	80.2	78	77				
	ウ	%	0.44	0.87	0				
上位成果指標	ア	%	47	49	49				
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?
戦前軍用馬の牧場として設立された牧場を戦後、町内畜産農家の預託牧場として整備した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?
農家戸数の減少に伴い入牧農家戸数が減少。また、肉用牛の入牧希望が平成17年度からなくなった。

この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
預託管理の質の向上、放牧草地の整備改良を望む意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的妥当性評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか?意図することが上位施策に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	夏期預託放牧により、粗飼料自給の補完、労力不足の解消が図られており、生産性の向上に結びついているものと考えられる。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	牧管理規定に基づき公共関与している事業であり、草地の維持保全、本町畜産業の振興等の観点から手を引くことはできないと考えられる。		
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか?(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	現在の対象以外に拡大・縮小の余地はないと考えられ、要望等も特にない。		
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	町内畜産農家の飼養動向と連動して、施肥管理、放牧配分等、適時見直しの余地はあると考えられる。		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	畜産農家における粗飼料不足、労力不足が顕在化し、現在の経営規模が維持できなくなる等、農家経営のみならず、地域経済に及ぼす影響は大きい。		
有効性評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合余地はないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	類似事業はない		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ [具体的に] <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ [全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由]	町営牧場における預託放牧は優良な搾乳後継牛の確保につながっている。		
効率性評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	事業費及び内容の見直しは既に行っている。これ以上の削減は、管理の質の低下に結びつくことが予想され、慎重な対応が望まれる。		
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか?成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	日常管理は既に管理委託を外注しており、安易に人件費を削減することはできない。		
公平性評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか?	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	平成13年度に入牧料の見直しを行っており、直接事業費の92%を受益者負担金で賅っている。自主自立推進プランでは維持管理費の100%相当額を入牧料収入で賅うこととしているが、管理技術の水準等を考慮すると、当面適正化の余地はないものと考えられる。		

3 改革・改善方向の部(PLAN)																											
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																										
現状維持を基本とするが、施肥、放牧管理、人員配置体制のあり方等、状況に応じて適時改善の検討を行っていく必要はある。成果の向上については、熟練した管理人の確保、管理人の技術向上、草地の改良等により余地があるものと考えられる。効率性の向上、管理人の確保の観点から、指定管理し制度の導入を今後検討していく。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下	維持		×		低下		×	×
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持			×																							
低下	維持		×																								
	低下		×	×																							
(2)改革,改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか?それをどう解決していきますか? 効率性のみならず、管理の質をいかに確保していくかが鍵となる。																											